

第6学年 学級活動(1) 指導案

議題「自分たちの運動会を工夫してつくりよう」 ウ:学校における多様な集団の生活の向上 目指す子供像 考え行動する子 育成を目指す資質・能力 「着地力」「創造力」「協働力」	日時 令和3年9月30日(木) 学年 第6学年 22名 指導者 越智 昌博
---	---

児童について

「風に成れ!～輝く,初めの第一歩～」本年度の6年生学級テーマである。統合1年目の6年生として、「口和小学校の第一歩をしっかりと残したい。」「口和小学校の校風を,自分たち6年生が中心になって創っていきたい。」という願いが詰まっている。1学期は、「ありがとう」が言える学級にしようがんばってきた。また,中学校のオープンスクールで見た中学生の姿から「礼の仕方がかっこいい。」と感じ,見習おうと意識することもできている。

本学級は,物事に対して,素直にまじめに取り組もうとすることができる児童が多い。「新しく口和小学校の伝統を創る」という意識ももっている。実際の生活の中では,「これまで通り」ということも多いが,試行錯誤しながら新しい口和小学校を創ろうと取り組んできているところである。

4月の遠足では1年生歓迎集会を実施した。内容や役割分担,準備物などについて自分たちで話し合い,準備し,実行し,他学年や教職員からも肯定的に評価してもらい,自信につなげることができた。続けて,運動会に向けて児童会テーマを募集し取り組んでいこうという段階で残念ながら延期となってしまった。

話し合い活動においては,自分の考えを積極的に発言できる児童が限られている実態がある。しかし,意欲をもっている児童も多く,新しい集団にも慣れて,少しずつ意見交流が深まってきている。

議題について

本議題は,学級活動(1)ウの内容をねらいとしている。児童会やクラブの集団,学校行事に取り組む各種の集団,日常的に異年齢交流を行う集団,通学を共にする集団など学級や学年の枠を超えた多様な集団における活動及び学校行事を通して学校生活の向上を図るために,学級としての提案や取組を話し合っで決める活動である。特別活動の各活動・学校行事の内容の関係に着目すると,この内容は,学級活動と児童会活動や学校行事をつなぐ活動であるとも言える。

運動会を控え,児童会テーマを考えるなど意欲が高まっている時期である。人数が増えた中で迎える運動会を楽しみにしている反面,統合とコロナ禍という要因から,これまでとは違う運動会になることに不安も感じるかもしれない。しかし,逆に「これまで通り」ではない運動会にしていくチャンスでもある。これまで両校で行っていた演技・種目をどう折り合いをつけていくか等,時間や条件の制約がある中だが,児童の意見もぜひ取り入れていきたい。

ここでは,特に「応援合戦」を取り上げる。現段階で応援合戦は行わない方向であるが,そのことを児童はどうとらえるだろうか。「自分たちで考えて創り上げる演技種目がなぜできないのか。」「応援合戦の目的は何だったのか。」「できないなら,何が代わりにできるのか。」等の児童の反応を期待したい。

6年生にとって最後の,口和小学校にとって最初の運動会を,心に残るものにしたという想いを,共通の目的意識として,話合いを深めていくことができる議題だと考える。

指導について

指導にあたっては、以下の点に留意する。

着地力の育成に向けては、まず「どんな運動会にしたいのか」について、学級全体で共通理解を図る。「みんなで」「協力して」「自分たちで」等、出てきた意見をキーワードにして、話し合う視点としたい。話し合いの中では、常に視点を意識し、合意形成の方法を確かめながら、よりよい考えに深めていきたい。

創造力の育成に向けては、当たり前と知っていることについても「なぜなのか。」「それでいいのか。」と問いかけることを通して、疑問に思ったり、立ち止まって考えたりする機会を増やす。議題ボックスも有効に活用させ、疑問や課題意識を提起できる場を保障することで、課題に気付く力を育成していきたい。

協働力の育成に向けては、行事や話し合いの事前、事後の指導を大切にするために、掲示の工夫等、見通しをもてるようにする。振り返りでは、自己評価とともに相互評価を行い、協働することの意義と、自分や友達のよさを実感させたい。

評価規準

観点	よりよい生活を築くための知識・技能	集団や社会の形成者としての思考・判断・表現	主体的に生活や人間関係をよりよくしようとする態度
評価規準	<p>みんなで楽しく豊かな学級や学校の生活をつくるために、他者と協働して取り組むことの意義を理解している。</p> <p>合意形成の手順や深まりのある話し合いの進め方を理解し、活動の方法を身に付けている。</p>	<p>楽しく豊かな学級や学校の生活をつくるために、問題を発見し、解決方法について多様な意見のよさを生かして合意形成を図り、信頼し支え合って実践している。</p>	<p>楽しく豊かな学級や学校の生活をつくるために、見通しをもったり振り返ったりしながら、自己のよさを発揮し、役割や責任を果たして集団活動に取り組もうとしている。</p>

活動の見通し

日時	児童の活動 (☆計画チーム○学級全員 □児童会本部)	指導上の留意点	◎目指す児童の姿 【観点】〈評価方法〉
8月中 休憩時間	□運動会のテーマについて出た意見を集約し、学級会の計画を立てる。		<p>◎運動会を楽しく意義のあるものにするために、全校で協力して取り組むことの意義を理解している。</p> <p>【知】〈発言・観察〉</p>
9月2日 (木) 2校時	学級活動(1) ○運動会のテーマを話し合い、決定する。		

9月中	□運動会の横断幕について話し合い, 提案・作成依頼をして完成する。	・6年生全員で児童会本部に協力し, 意欲を高める	
9月22日 (水) 2校時	学級活動(1) ○運動会のプログラム案から, 自分たちの考えを出し合い, 話し合う。		◎運動会を楽しく意義のあるものにするために, 見直しをもったり振り返ったりしながら, 集団活動に取り組もうとしている。 【態】〈発言〉
9月24日 (金) 特活朝会	☆学級活動の計画を立て, 準備をする。	・学級会カードの意見を集約し, 学級会の流れを確認しながら, 合意形成の図り方の案を考える。	
9月30日 (木) 【本時】	○学級活動(1)	*「本時の展開」参照	◎運動会を楽しく意義のあるものにするために, 問題を発見し, 解決方法について合意形成を図っている。 【思】〈発言〉 ◎合意形成の手順や深まりのある話し合いの進め方を理解し, 活動の方法を身に付けている。 【知】〈観察〉
10月1日 (金)~	○役割分担を確認し, 準備を行う。		◎話し合い, 合意した内容について, 他者と信頼し合い支え合って実践している。 【思】〈観察〉
10月14日 (木) 2校時	学級活動(2) ○運動会に向けて自分の役割を考え, 目標をもつ。		
10月24日 (日)	運動会		◎自己のよさを発揮し, 役割や責任を果たして集団活動に取り組もうとしている。 【態】〈観察〉
10月28日 (木) 2校時	学級活動(2) ○運動会とそれまでの取組について振り返る。		

本時の活動

(1) ねらい

友達の意見と自分の考えを比べ、よりよい活動内容を考えることができる。

(2) 展開

話し合いの順序	指導上の留意点・支援	◎目指す児童の姿 【観点】〈評価方法〉
1 始めの言葉		
2 計画チームの紹介		
3 議題の確認 4 提案理由の説明	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> <p>議題 口和小学校, 第1回運動会をつくろう。 「心に残る運動会になるよう工夫しよう。」</p> </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>提案理由 (今の様子) 今年の運動会は, 応援合戦がありません。 (目指すこと) 6年生がリーダーとして盛り上げて, みんなの心に残る運動会にしたいです。 (すること) 自分たちで工夫してできることを決めたいです。</p> </div>	
5 話し合いのめあて	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>話し合いのめあて 自分の考えを伝え, みんなでよりよい考えにしていこう。</p> </div>	
6 決まっていること	<ul style="list-style-type: none"> ・運動会 10月24日(日) グラウンド ・リハーサル 10月20日(水) 	
7 話し合い 話し合うこと① 「心に残る運動会にするために何ができるか」	<p>【比べ合う】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・話し合うこと①は, 「比べ合う」段階から進めるため, 事前に意見を短冊に書いておき, 発表する。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> <p>予想される意見例</p> <ul style="list-style-type: none"> ・チームの旗をつくる。 ・ボンボンや小さい旗を作って, 声を出さずに応援する。 ・メガホンを作って, 小さい声で応援する。 ・一人一人が目標を書いて飾る。 ・入場門や退場門を飾り付ける。 </div> <ul style="list-style-type: none"> ・事前に児童が考えた視点を確認し, 視点に沿って比べる。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>予想される視点</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自分たちで工夫してつくることができる。 </div>	<p>◎運動会を楽しく意義のあるものにするために, 問題を発見し, 解決方法について合意形成を図っている。</p> <p>【思】〈発言〉</p> <p>◎合意形成の手順や深まりのある話し合いの進め方を理解し, 活動の方法を身に付けている。</p> <p>【知】〈観察〉</p>

	<ul style="list-style-type: none"> ・みんなが参加して協力してできる。 ・短い時間で準備できる。 ・似ている意見がないか考え、話し合う。 ・似ている意見をまとめることから話し合いを進めるように、計画委員会に事前に指導しておく。 ・司会に、意見の確認や分からない内容がないか、全体の反応を見て確認させる。 ・黒板書記に、話し合いに合わせてグルーピングしてわかりやすい板書になるように助言する。 ・それぞれの意見のよさや難しさについて話し合う。 ・下記のような、自主性を越えるものや制約があることについては注意を促す。または保留とし、意見を預かる。 	
	<ul style="list-style-type: none"> ・危険をとまなう内容について ・金銭に関する内容について ・学校のきまりにかかわる内容について ・時間や場所について ・個人に負担がかかる内容やプライバシーにかかわる内容について 	
<p>話し合うこと② 「役割分担を決めよう」</p>	<p>【まとめる】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・視点と提案理由にもどりながら、よりよいと思う意見にまとめる。 ・複数の案が可能ならば、優先順位をつけていくように、司会に助言する。 <p>【出し合う】【比べ合う】【まとめる】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・話し合うこと①で決まった内容について、5W1Hなど具体的にどう動くか意見を出し合い、決める。 ・計画委員会に「何を決めなければならないか」案をもたせておくが、全体でも考えを出し合って、話し合う。 	
<p>8 決まったことの確認</p>		
<p>9 先生の話</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・視点を絞って話し、意欲を高める。 ①計画委員会について (準備や話し合いの進行について) ②学級全体について 	

	<p>(「理由をつけて発言する姿」「他の児童の意見を受け止め,自分の意見を振り返る姿」「提案理由に戻る姿」について)</p> <p>③次回の話し合い活動に向けての課題</p>	
10 振り返り	<p>・学級会ノートに基づいて自己評価し,互いのよさを認める相互評価や次に向けての課題も言葉で整理できるようにする。</p>	
11 終わりの言葉		